

本 会 記 事

1. 昭和57年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の昭和57年度総会ならびに研究発表会は、約150名が参加し、11月15、16の両日、善通寺市の善通寺グランドホテルで開催された。

1) 総 会

15日の13時から開会され、昭和56年度の会務報告が承認されたのち、昭和57年度の事業計画ならびに予算案が上程され、承認された。議長は香川県農林部専門技術員、野田弘之氏が当られた。

2) 研究発表

15日の14時から16日の12時まで、次の11課題について研究発表が行われ、討論した。座長として、佐々木善隆、吉岡幸治郎、山本磐、藤田育資の各氏が当られた。

(1) 山崎康男・吉岡幸治郎(愛媛農試)：サトイモにおけるハダニの侵入・増殖と畦畔防除の効果

(2) 浅野昌司^{*}・久保伊佐夫^{**}(^{*}大塚製薬・^{**}カリフォルニア大)：りん翅目昆虫の幼虫発育に及ぼすPhytoecdysonesの影響

(3) 川原幸夫・島本龍一(高知農林技研)：イネのアザミウマ類の生態

(4) 川村 満(高知農林技研)：アザミウマ類による玄米の傷害

(5) 二神鶴宜・高井幹夫(高知県中村防除所)：イネのアザミウマ類の防除

(6) 上田 進・別宮岩義(愛媛県南予防除所)：ネーブルかいよう病に対する各種銅剤の防除効果

(7) 川田洋一(高知農林技研)：ヤマモモ疫病(新称)について

(8) 大森尚典^{*}・橘 泰宜^{*}・石井卓夫^{**}・松本英紀^{***}(^{*}愛媛果試・^{**}県庁・^{***}農試)：伊予柑の黒腐病の防除について

(9) 松本 征・吉岡幸治郎・松岡隆宏・山崎康男(愛媛農試)：ミナミキイロアザミウマの野外における発生とナスでの被害

(10) 釜田 壹・亀井正治・浅野昌司(大塚製薬)：アルトシッド10Fによるイエバエの防除の方法

(11) 三宅克彦・須藤眞平・岡田小太郎(徳島県脇町地方防除所)：徳島県西部におけるクリタマバチの生態と防除対策

3) 協 議

15日、15時30分から17時まで、「植物病害における抗菌抵抗性」について、谷 利一氏(香川大)、「マツノマダラカミキリの生態と防除」について、岡本秀俊氏(香川大)に話題提供して戴いた(要旨9～14頁)。座長は重松喜昭、川村 満両氏が当られ、活発な討論が行われた。また、16日、9時から10時まで、各県における本年度の病虫害発生の特徴とその対策ならびに防除上の問題点について、山下定利(徳島)、野田弘之(香川)、武智文彦(愛媛)、上村隆之(高知)の各氏が報告され(要旨103～109頁)、意見を交換した。なお、座長は野口義弘、都崎芳久、両氏が当られた。

2. 次年度総会

昭和58年度の本会総会ならびに研究発表会は、徳島県が担当し、昭和58年11月中旬、徳島市において開催の予定である。